

Zekkeiが拓く 北海道の新しい絶景

雲海の謎と、データ駆動型観光の可能性

北海道国立大学機構オープンイノベーションセンター（ACE）で実施している商農工融合による三大学（小樽商科大学・帯広畜産大学・北見工業大学）連携の「Zekkeiプロジェクト」。データ駆動型観光の社会実装に向け、潜在的な用途・利用ニーズ・地域課題を皆さまと共有します。

日時

令和8年

11月13日（金）

15:00～17:00

定員
30名
参加無料

申込

右記2次元バーコード
もしくは下記URLより
お申し込み下さい。

<https://forms.gle/P8R9AvPaL7mucDAB7>



締め切り 11月11日（水）

【お問い合わせ】
北海道国立大学機構 経営企画課大学連携室研究推進係
E-mail: renkei02@office.nuc-hokkaido.ac.jp

場所

小樽商科大学札幌サテライト

札幌市中央区北5条西5丁目7番地 sapporo55ビル3階

当日はオンラインでも配信いたします。オンラインでの参加をご希望の方も申し込みフォームから登録ください。

〔講演〕

1 “室蘭雲海”の 謎にせまる

佐藤 トモ子

（日本気象協会 副会長・気象予報士）

夫の転勤に付き添い移り住んだ斜里町で知床博物館に勤務、オホーツクの気象楼・幻氷に魅了され現地の皆さんと研究会を発足。2022年から本年9月まで北見工大に社会人学生として在籍し、（Zekkeiプロジェクトの一員として）四角い太陽や雲海などの研究を続けている。



〔講演〕

2 気象を対象とした ビジネスについて（仮）

講演者調整中

（所属・肩書）

プロフィール文が入ります。ご経歴・ご専門・事業内容などを100字程度で掲載予定です。



開会 挨拶 三枝 昌弘（北見工業大学 教授）／ACE取組紹介 本間 中（小樽商科大学 特任准教授）

パネルディスカッション

3 「データ駆動型観光『Zekkeiプロジェクト』が 北海道の自然景観を新たな観光資源にする可能性」

パネリスト

東 陽介（帯広畜産大学 教授）

館山 一孝（北見工業大学 准教授）

本間 中（小樽商科大学 特任准教授）